

沿 革

- 1980年 6月 滋賀労働基準局長（現滋賀労働局長）ならびに滋賀県知事の許可を受け財団法人
滋賀保健研究センターを設立。
初代理事長に小田原 健就任。
- 1980年10月 野洲町（現野洲市） 富波甲 1541-1 から野洲町（現野洲市） 富波乙 592 に移転。
- 1981年 5月 機関紙「滋賀保健ジャーナル」を発行。
- 1982年 2月 「特殊健康診断用等機器整備」の助成事業により作業環境測定機器を整備。
- 1982年 3月 滋賀労働基準局（現滋賀労働局）から作業環境測定機関として登録。
社団法人 日本作業環境測定協会へ入会。
- 1982年 4月 湖南労働衛生センターとの健康診断委託業務契約の締結を行う。
- 1987年12月 社団法人 全国労働衛生団体連合会（全衛連）に加入。
精度管理委員会、成績管理委員会を発足。
- 1988年12月 野洲町永原に新施設を竣工、総合健康管理機関の拠点とする。
- 1989年10月 労働者健康保持増進サービス機関として中災防より認定を受ける。
- 1991年 9月 機関紙「滋賀保健ジャーナル」を「アクティブライフ」に名称変更。
- 1991年11月 現施設を増築して健診棟を竣工。
- 1992年 4月 人間ドック健診を開始。
- 1993年 6月 健康情報紙「へるす」を発行。
- 1994年 6月 滋賀労働基準局長と労災保険特別加入健康診断委託契約を締結。
（じん肺・振動障害の検査）
- 1995年 4月 中小企業安全衛生活動促進事業助成制度に係る特殊健康診断機関の名簿搭載
（健康診断機関・作業環境測定機関）。
- 1995年11月 情報提供紙「トピックス」を発行。
- 1996年11月 人間ドックの体制充実のため、健診棟増改築工事を行う。
- 1998年10月 日本総合健診医学会より「優良総合健診施設」の認定を受ける。
- 1999年 3月 日本病院会より「優良自動化健診施設」の指定を受ける。
- 1999年 6月 新理事長に、大道 重夫就任。
- 1999年 9月 品質保証システム「ISO9002」認証。
- 2000年10月 日本消化器集団検診学会より「指導施設」の認定を受ける。
- 2002年 4月 滋賀労働局長より労災二次保険健康診断等給付医療機関指定を受ける。
- 2003年 2月 品質マネジメントシステム「ISO9001:2000」へ移行。
- 2005年 4月 「プライバシーマーク（Pマーク）」認定。
- 2007年10月 滋賀労働局と石綿健康診断実施の委託契約を締結。
- 2009年 6月 環境マネジメントシステム「エコアクション 21」認証。
- 2010年 3月 環境計量証明事業（音圧レベル・振動加速度レベル）を開始。
- 2012年 4月 公益法人制度改革の定めに基づいて一般財団法人へ移行する。
- 2013年 7月 診療所別館を施工し人間ドック専用施設として運用を開始。
- 2014年 3月 三重県伊賀市に伊賀営業所（診療所）を開設。
- 2017年 4月 大阪府茨木市に北大阪営業所（診療所）を開設。
- 2017年10月 日本人間ドック学会より「人間ドック健診施設機能評価」認定を受ける。
- 2019年 2月 日本健康会議より「健康経営優良法人（大規模法人部門）」認定を受ける。
- 2019年11月 管理棟の増築を行う。
- 2020年 6月 新理事長に、三原 卓就任。